

☆最優秀賞



おかしいな 気づいたしゅん間 すぐ相だん

吉浦小学校3年 道中 唯耀

■作者より

自分だけでなく、クラスや知っているお友達の様子がいつもとちがうなと思ったら、だれかにすぐ相談すれば、いじめがふせげるのかなと思いました。

■審査員より

・この標語が、子どもたちの合言葉になり、相談できる力につながっていきたいと思いました。
・身近な人の普段と違う様子に気づけることや、それを誰かにSOSとして発信していくことの大切さを分かりやすい言葉で表現できていると思いました。
・ちよつとした違和感からの声かけは大切だと思いました。

☆優秀賞（小学生部門）



いじめはね やめるじゃなくて はじめない！

広南小学校6年 山田 閃太郎

■作者より

いじめて人を傷つけてやめるのではなくて、傷つけないようにそもそもはじめないことが大事だと思ったからです。

■審査員より

・そもそも始めないというのは、なかなか思わなかったです。斬新でした。
・いじめないという気持ちをもつことが大事です。相手が嫌だと感じたらいじめ。このことを子どもたちが理解し、相手の気持ちを考え、行動できる呉の子どもであってほしいです。

☆優秀賞（中高生部門）



いじめゼロ 最初の一步を 私から

呉中央中学校7年 土井 ネロリ

■作者より

いじめを止めたり無くしたりするために、自分が発する言葉や行動から気を付けて、いじめをゼロにしていきたい。

■審査員より

・いじめを自分の問題として考えることができていると思います。
・いじめをなくす意識をまずは自分からということがシンプルでわかりやすいと思いました。
・伝わり易く、自発的なのが良いと思いました。